

OIS ディスカウント、CVA、FVA の 統一的な評価の枠組み

2015年7月2日（木）

OTC クオンツスクール

無担保と有担保デリバティブの新しい統一的な評価方法とリスク管理手法を講義します。具体的には、1方向 CVA の枠組みで、自行のファンディング・コストとファンディング利得を考慮してデリバティブを評価します。この枠組みでは、自行のファンディング利得である FBA(Funding Benefit Adjustment) は、双方向 CVA における自行の倒産利得である DVA に相当しますが、もはや DVA は CVA デスクでは管理されず、ファンディングデスクで、ファンディングコストである FCA(Funding Cost Adjustment) とネット FVA(Funding Value Adjustment) として管理されます。

この1方向 CVA に FVA を付加するパラダイムでは、カウンターパーティの倒産はクレジットデリバティブのアプローチで、自分の倒産に関してはファンディングとして対応するハイブリッドな方法であり、DVA を FBA とみることによって、より効率的なリスク管理が可能となります。この枠組みは、銀行におけるリスク管理のプラクティス、FVA のネットティングや OIS ディスカウンティングによる完全有担保取引の評価と整合的になります。

概要

金融危機を経て、デリバティブ・マーケットは大きく変貌を遂げました。特に、有担保取引は OIS ディスカウントに基づく手法で評価し、無担保取引はこれに CVA と FVA を調整するという評価方法が新たに確立されつつあります。本セミナーでは双方向 CVA に代わる新しい枠組みである1方向 CVA に自行のファンディングのネットコストの現在価値である FVA (Funding Value Adjustment) を付加する枠組みについて講義します。具体的には

- Hull White の FVA 不要論を整理して、これに対して FVA を正当化していきます。
- 双務的 CVA における自行倒産による利得である DVA (Debt Value Adjustment) のリスク管理上の限界を論じます。
- DVA がファンディング利得の現在価値である FBA(Funding Benefit Adjustment) となぜ同値になるのかを詳しく説明します。
- 1方向 CVA に FVA を付加する新しい枠組みで、カウンターパーティの倒産も考慮にいたった FVA の公式とファンディングを考慮した CVA の公式を示します。副産物として、CVA と FVA のディスカウント金利も明らかになります。
- この新しい枠組みによる FVA のネットティングと、これが OIS ディスカウントによる完全有担保取引

の評価と整合的であることを示します。

- 金融機関の中での、デリバティブ・デスク、CVA デスク及びファンディング・デスクの役割と内部仕切りについて明らかにします。

セミナー対象者

- 金融機関におけるクオンツ、トレーダー
- 金融機関のデリバティブ、ALM、リスク管理等の関係部署の方
- 監査法人でデリバティブ業務等の監査に携わる方、金融商品の評価業務に携わる方
- デリバティブ、金融リスク関係のシステム構築に携わる方
- 微分積分の計算に抵抗のない方

講義日程

日付： 2015年7月2日 (木)

時間： 18:00 – 21:00

会場： JAビル カンファレンス 401B

定員： 25名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Investments 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部 調査役、さくら銀行 商品開発部 上席調査役、コメルツ証券会社 債券部トレーディングデスク ディレクター、ベアースターズ・ジャパン 債券部 マネジングディレクター、RBC(Royal Bank of Canada) キャピタルマーケット・ジャパン 金利と為替デリバティブ・トレーディング ディレクターを経て、現在、株式会社 Diva Analytics にて金融デリバティブモデルや規制にかかるコンサルティングに従事する。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理学科 後期博士課程修了。

受講料

40,000円 (税込)

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。ただし、申込みの優先順位は後回しになります。

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

- ・ 1 方向 CVA と双方向 CVA
- ・ 双方向 CVA における DVA のリスク管理上の限界
- ・ Hull-White の FVA 無効論
- ・ FVA 正当化の議論
- ・ 倒産がない場合の FVA
- ・ 双方向 CVA+FVA
- ・ DVA と FBA の同値性とリスク管理上の違い
- ・ 1 方向 CVA+FVA
- ・ CVA と FVA のディスカウントレート
- ・ FVA のネットティング
- ・ OIS ディスカウンティングとの整合性
- ・ デリバティブ・デスク、CVA デスク及びファンディング・デスクの役割と内部仕切り

(注) 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。